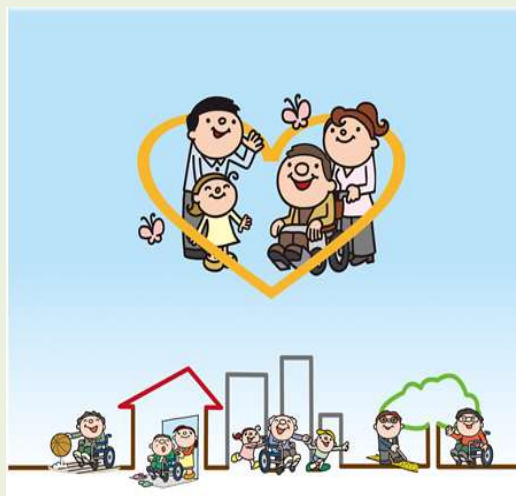


### Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

#### 地域生活支援事業（予算額：約3億3054万円）

障がいの有無に関わらず、自立した日常生活または社会生活を送ることができる地域社会の実現をめざしています。

また、福祉の増進を図るため、地域の特性や利用者の状況に応じて、相談支援、意思疎通支援、日常生活用具の給付、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援、訪問入浴サービス、重度障害者等入院時コミュニケーション支援、居住サポートなどの事業を計画的に実施しています。



#### 就労等支援事業（予算額：4934万円）

お仕事を探している方へ、相談や職場体験等で支援し、お仕事をされている方に対しては、お仕事が続けられるよう支援を行います。

また、講座や体験イベント等を開催し、若者の働く意識を高めるとともに、子育てをしている方への支援として、託児室を開設しています。



### Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

#### 認知症総合支援事業 (予算額：約2814万円)

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係機関や地域の方々の協力を得ながら必要な支援に取り組んでいます。

具体的には、認知症の方やそのご家族との関わりを持つことにより、早期診断・早期対応に向けた支援や、行方不明のおそれのある認知症高齢者を把握することができます。

令和元年度からは、より身近な地域で認知症の方やそのご家族への相談支援が行える体制を強化するため、市内7か所の地域型地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を配置しています。

#### ※地域包括支援センターとは？

65歳以上の高齢者やご家族を対象に、介護や健康、生活など困っていること、悩んでいることに対し、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員の専門職種が相談や必要な支援を行っています。





### Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

#### 生活困窮者自立支援事業（予算額：約8862万円）

『自立相談支援』：生活保護に至る前の生活困窮者に対して、相談窓口を設置して本人が抱える課題を受け止め、包括的な支援計画を作成し、自立までの継続的な支援を行います。また、複合的な問題を抱える生活困窮者を早期に把握するために関係機関のネットワークづくりを行っています。



『住居確保給付金』：離職により住宅を失った又はそのおそれがある生活困窮者であって、所得等が一定水準以下の者に対して、住居確保の給付金（家賃）を有期で支給します。

『一時生活支援』：沖縄市を現在地とする住居を持たない生活困窮者を対象に、一時的に安全な居場所を確保し、安定した生活を取り戻すために必要な支援を行います。また、居住に困難を抱え、地域社会から孤立している生活困窮者を対象とし、一定期間、訪問等による見守りや生活支援を行います。

『就労準備支援』：沖縄市内の生活困窮者で、すぐに仕事に就けない方に対して就労セミナー等を行い、自立に向けた支援を行います。



『学習支援事業』：沖縄市内の被保護世帯のこども、並びに準要保護者のひとり親世帯のこどもに対し、高校進学に向けた学習支援を行います。

### Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

#### 健康づくり推進事業

(予算額：約1247万円)

「みんなでいきいき健やかに暮らせる社会」をめざし、介護を受けたり寝たきりになったりせず元気に日常生活を送れる期間を延ばすことを目標に、生活習慣病を予防するための健康づくりを支援しています。また、多くの市民へ健康づくりの大切さを伝える講演会、自治会で行う健康講話やヘルシーメニューの実習、運動や調理実習等の実践活動を行う各種教室などを行っています。また、健診を受ける、健康づくりに参加する、ウォーキングを実践する等で健康ポイントを貯めて特典が当たる「おきはくん健康ポイント事業」を平成29年度から実施しています。



#### 予防接種事業

(予算額：約1億4324万円)

国が定める高齢者の予防接種を実施することで、接種者数の増加に取り組み、感染症による重症患者と死亡リスクの軽減を図るとともに、医療費の負担軽減を図ります。

また、こどもの麻しん・風しんの予防接種を受けていない子ども達に接種する機会を与え、感染症のまん延防止及び感染による合併症のリスクの軽減を図ります。

